

公共劇場が仕掛ける多様で持続可能な社会の実現事業

～分野横断「よこぐし」プログラム～

丸亀市民会館（シアターマド）



令和8年9月6日に開館した丸亀市民会館（シアターマド）では、「豊かな人間性を育む」、「誰一人孤立させない」、「切れ目ない支えあい」という3つの基本理念を掲げ、社会のあらゆる分野のニーズや課題に対して文化芸術的手法でアプローチを行っていきます。

特に、《こどもたちの非認知能力の向上や対面の関係性を豊かにしていく事業》、《障害のある方を含む様々な特性のある方が自信を獲得もしくは回復し、能力を発揮できる事業》、《多様な人々が共に社会のあり方を考えられる環境づくりのための事業》に力を入れていきます。

令和元年度から市民会館の計画策定や設計と並行して、テストケースとなる事業を数多く実施してきました。

丸亀市民会館は、分野や特性を越えて多様な人達が芸術文化や生涯学習を通じてつながり、お互いを理解し、社会のあり方について考えられる事業を発展させながら継続していきます。

多様な人たちが共に支え合える社会の実現に向けた取り組みに是非ともご支援をお願いいたします。



こどもたちの感性を豊かにし、想像力や創造力、コミュニケーション能力を育む

身体表現アウトリーチ

音楽アウトリーチ



障がいの有無にとらわれない相互理解と関係性の創出

障害福祉施設での音楽ワークショップ

字幕・音声サポート演劇公演



年齢や性別、国籍などを越えて多様な人がつながる

多様な参加者による市民劇公演

市民劇制作風景